政治経済講演會速記 第一九號

生の経済學

昭和八年四月二十八日
高木友三郎氏講演

群馬県立図書館
中島文庫

No. 2

昭和八年四月二十八日

「生の経済學」

國政研究會

10×20

7127
注意事項
○資料は大切に扱いましょう。
○資料は転貸借はお断りします。
○15日間の期限に必ず返して下さい。
○資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。
群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話（0272）㉛3008番

「生の経済學」

一、序　高木友三郎氏講演

実は問題が問題でございまして、斯う云ふ所で御話するのもどうかと思ひますが、矢張り結論に於ては触れて居る所もありますので、兎に角一應興味のある様な所を大体述べて見たいと思ひます。

是は矢張り或る意味に於て経済学と哲学を合せたものであるが、経済哲学は余り発達し

てゐないのであります。法律哲学は相当研究されて居るが、経済哲学と云ふものは最近日本では左右田博士が研究されたが、システムを御作りにならずに御隠れになつたのであります。又外ふにもシステムの付いたものは実はないのであつて、経済哲学と云ふ名前はあるけれども、それを書いた本は総て合せて十冊あるか、ないかと思つて居ります。其の十冊すらもシステムのついたものはない。本書味で、中島先生の小産飛行機の様に小産生の

經済学と云ふ日本的のものを出したい訳であり~~ます。内容は迚も中島先生の經済学の如く良いものではありませぬが~~小生は兎に角日本産のものを出したと云ふことを認めて聴いて頂きたいと思ひます。

二、生の立場

私は現実論者でありますから現実から總てを見て行くと云ふのが私の立場であります。それが即ち生きると云ふ現実から出発するのであります。又現実論者でありますから、ヘーゲルの「現実的なものは理性的である。理性的な

10×20
國政研究會
8. 2. 9000

ものは現実的である」と云ふ格言があるが、~~理~~現実である限り何処か其処に理性的のものがある、因果関係を持つて居る。さうして其の理性が漸次発達したものが生存競争に依つて勝つて行つて、理性的に発揮されるものである。仮設現実であつても自然に淘汰されて、理性的のもののみが其処に残つて行くと云ふ意味に於て、「現実的なるものは理性的である、理性的なるものは現実的である」と云ふヘーゲルの言葉は正しいと思ふ。現実であるならば何か其

處に存在~~するもの~~根據があり、必ず原因がある。其の原因が何かと云ふことを見破り、其の原因が何處迄伸る力があるかと云ふことを見破ることに依つて勝利が得られる~~ま非常に感じて居るのであります~~。同時に私は生命と云ふ力を現實の出發点に置くのであります。生命が果して物質であるか、精神であるかと云ふことになれば現實以外の問題である。現實は二つである。總てが二つである。男と女と云ふ様に二つである。併し男が初めであるか、

女が初めであるかと云ふことを生物学上で論ずるならば、初めは無性のアミーバであつて、それが二つになり、四つになりを云ふ様に分裂し~~する事を~~たものである。それが漸次分裂を止めて、一身に男と女を持つた生物が出来、其の後に男と女が出来たのであつて、今日の現実の文化から申せば男と女はあるが、現象に依つて何方が先かと云ふことになれば、それは總て初めは混沌の状態である、男とも女とも言へない。物質と精神も亦同じである。分

子とか原子とかエレクトロンとか云ふ様なものがあるが、其のエレクトロンが物質か或は精神かと言へば非常に是は問題であるが、細い電子の中にも陰陽があつて、一つの陽を中心として集つて居る。それが幾つか分量的に結合すれば一つの原子になる。それが又分量的に重合ると或る一部のものになると云ふ訳であつて、内面的に見れば矢張り一つの精神の作用であり、外から見れば物質の作用である。進化と云ふものは混沌たる状態から複雑に分化

して行く、而も其處に統制され、統一されて
進化があるのであります。現象から見れば、
二元或は二元以上のものである。其處で原初
に遡つてどつちが先であるかと云ふことは空
論でもあるし、又それは永久に分らないこと
であると思ふ。現実としては
生は勢である、同時に生は理である。此の二
つを兼備へた者が生存競争の優者として自然
に道理を発揮して行くと云ふ所に宇宙の進化
を認めると云ふのが大前提になるのでありま

す。それが私の立場であります。

三、それからどういふ方法に依るかといふと二つある。まづ哲學に於ては、私はカントを其の後に出來た新カント派のリッケルト其の他の哲學的理想派に從ふ。即ち物の價値を認める。さうして其處に總てが突進して行く。其の價値の大極を理念と申します。詰り進航と同時に水平線の彼方に何があるか分らないが水平線が見え、それが一つの進航の理想になる。併し進むに從つて廣つて行く其の理想、價値、

或はのもう一つ奥を見れば、理念と云ふものに向つて我々は突進しつゝあるのである。人間がある限りは理想を持つて居る。~~実に斯れま~~ ~~事ではなくて価値を持つて居まし~~究極に於ては理念~~と云ふもの~~に向つて進んで行くのである。是が独逸の価値哲学であつて、私は之を一つ方向として持つて居るのであります。同時に私は何故人間が斯る価値を実現する為に突進しつゝあるかと云ふ根拠を生物学に求めて、進化論に依つて居るのであります。

適者生存といふことと、環境の適者たるが為には其處に何か優者たる才能、能力を持つて居るといふことを認めるのである。其の優者たる男と女が残されて、次の子供を産む。さうすると$(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$といふメンデルの法則に従つて、父母が音楽が好きであると一層音楽の好きな子供が一人出来、他方に於て音楽が好きである反面に於て足らない所のある子供が生れ、其中には両方の合さつた子供が出来て居るのである。斯様にして淘汰された

結果環境に適した人が残つて、自然に第二の新なるものを作るのである。それを系統的に云へば、分量がある所に行くと其の性質が変化するやうになるのである。生物学上の突然変異即ちフーリエの法則も矢張り其外に分量が重なれば性質的に変化があるといふことを示すものである。エレクトロンも分量の差異に依つて別の元素になる。例へば金も銀も細かく分ければ同じく電子であるが、或る程分量が違つて来ると斯う云ふ別の元素に

なるのであります。又遺傳性もある。さうして遺傳したものが変化することに依つて個性が生れ、其の個性が相集つて社会を作る。又社会を作ることに社会は個性に影響し、個性は淘汰される。又さうして作られた個性が社会に影響して社会を作つて行く。其處に社会の進化があつて、結局最も合理的なものが勝つて行くと云ふのが私の大体の方法的立場であります。

次には稍〻哲学的になつて、現象と云ふもの

は何かと云ふことであります。私は現象界は四つの根源を云ふか、極限と云ふか、未知の世界から出来て居ると考へて居る。即ち最初の出発点は、主観と客観との対立~~し出来た所の現象を構成して居る~~しない以前の世界、所謂経験以前の世界、――之を哲学的に直観の世界と言って居ります。例へば子供の如きはさうである。自分と他人との区別が分らないで、自分の指を噛んで居る。又アミーバの如きは何となく明るい光線に向って突進して、触れる物を食ひ

て居るが、果してそれを外の世界と思つて居るかどうか分らない。是は現象以前の世界、即ち全容一体の世界でありますそれが自然に分れて行つて、五官で世の中を見て行き、更に発達すれば理性の判断で世の中を見て行く、即ち識認識する様になるのであります。語り或るアミーバには視覚が出来て光線に向つて進み、更に味覚が出来ると云ふ様にして、高等生物には自然に器官が分化して五官或は六官が発生する。さうして生物は大体それが

りで生まれて居るのであります。併しそれだけでは必ずしも客観世界が確実に認識されたとは言へない。感覚が如何に客観世界と一致しないかと云ふ一例として、我々が東京駅から山手線に乗って品川の方へ進んで居る時に丁度横須賀線の電車と一緒になったとする。其の時に我々の乗って居る山手線の電車の速力が遅いと恰も逆行するかの如くに見える。是は詰り我々の感覚と云ふものが非常に客観的認識に対して誤りをし易いと云ふ一例にな

るのであります。又川の水の中に棒を突込みますと曲つて、非常に短い様に見える。併し其の感覚を信じては非常な誤りである。仮設三尺に見えても計つて六尺あつたものならばそれは六尺であるといふ理性の判断を信じなければならない。それを信じない人は生存競争の劣敗者となる。~~思ふのであります。~~結局生存競争に於ては感覚以上の認識力、判断力を持つた者が優者になるといふことに依つて人間の理性は自然に練られて来る。~~斯[illegible]~~

~~のであります~~。要するに生物が混沌たる無感覚の生物から漸次文化して六官、七官を備へ、更に智識、記憶力、それから判断力と云ふ様に進化する~~まま~~小のも矢張り或る分量的の差が性質的の差になつて化舞ふ。さうして一つ存在的になれば品質的に弱い分量的のものを制限する力がある。~~斯う云ふ風に宏小のであり~~~~ます~~又永久に我々には達することが出来ないが、水平線上に何か一つの理想を持つて突進する、幾ら行つても無限であるが、突進し

つつあると云ふのが理念の世界、詰り極限の世界であります。

斯う云ふ風に直観の世界から出発して、内部的極限が主観の世界であるとするならば、果して身体は自分の主観であるかどうか。必しも主観であるとは言へない。或る時は客観である。又自分の判断力が主観であるかどうか。必しも主観ではない。判断力を判断せんとするものが主観である。主観と云ふものは永久に現はれて来ない。現はさうとするも

~~ものが主観があります~~永久に発達して居つて、現はれて来ないで其の本体が主観である。又理念、極限、客観界に致しましても先に申した如く、兎に角我々は頻りに客観的に明に認識を得ようとするが、客観界は分らないものであります。カントの所謂物自体でありまする。石炭に致しましても、簡単に燃える石であると思つて居ると、中からタールも出来れば、ガスも出来る。やり方に依つては色々な化学工業品や染料が出来る。無限のものを持つて居る。

まだ我々には石炭の本質―物自体は分らない。永遠の彼方にあるのである。それは発見されて後にのみ分るものである。それ迄は我々にとつては、現実には燃える石或はタール、ガス等の出来る石と云ふに過ぎない。今後科学の進歩に依つて如何なる神秘な物が出るか分らない。けれども判断力の発達に依つて其の本質を究めようとする理念がある。又無限に何處迄も進化するか分らない。客観界も~~開構は~~

又 我々が價値を置いて、價値付けて行く社會自

作もどうするか分らない。個性は遺傳的に発達し、それが社会の環境に依つて淘汰され、淘汰された個性は遺傳に依つて新たな遺傳を作る。終局は何處になるか分らないが、未来の永遠の彼方に一つの理想があつて、それが一つの目標——現実ではないが、正に現実が到達せんとする永劫の目標になるのである。哲学でイデー、イデオロギー、或はイデアールと云ふ言葉を使ひますが、イデーと云ふのは理念であつて、詰り~~摑へんとする~~把捉しうる現実では

ないが、其の目標を云ふのであります。現実即ちレアールとイデールが合したものがイデアール即ち理想が出来るであります。我々が猛突進する理想の彼方にはもう一つ先に極限として理念がある。さう云ふ訳で現象界は四つから成立つて居る。さうして終極の理想に向つて行く其の過程が生きると云ふ過程であつて、同時にベターに生きようとする過程である。詰り生からより善き生に行かうとするのが現象界であつて、其處に色々の價値が発

揮され、物自体が現はれて行くと云ふのが大体、私の立場であります。之を哲学的に言へば直観、現象と雖も所與の世界である。まだ將来の分らない世界で、其の知覚は主観を超越した世界である。もう一つ將来は分らないが、実現さるべき世界がある、それを價値の世界、又は理念の世界と云ふのであります。大体是が現象界であつて、之を私は経済学に應用して行くのであります。

四 眞理、

現象は以上の如きものであるが、一体眞理

とは何ぞや、價値とは何ぞやと云ふ時に議論になつて來るのであります。眞理と云ふのは眞實であると云ふことが一つ、それからライト或はレヒトであると云ふこと、詰り正しいと云ふこと、眞實と云ふことが相俟つて眞理が成立つて行くのであります。其處で哲学者は二つに分れる。先づ眞理とは何ぞやと云ふ問に對して、事實が在ることに依つて眞理があるのであると云ふのが一つの立場であつて、是が唯物的の立場であります。然るに、

否、さうぢやない。眞理があるから事實があるのであると云ふのが唯心論的或は觀念論的立場であります。因果の法則が、あるから原因結果を知るのであるか、或は初めに原因結果と云ふことが與へられて居るから總ての世の中の現象に因果の法則を認めんとするのであるか。自然は整つて居る。我々は決して自然の總てを經驗したと云ふ訳ではないが、自然には一つの法則が先天的にある。さう云ふ先天的の觀念があるからして世の中には總

て眞理が出来るのである。経験しないもので
も経験したかの如くに思つて居るのは全く先
天的に因果の法則の如きものがあるからであ
ると云ふのが観念論者でありますが、私は先天
的にさう云ふものがあると云ふことは、或は浅
薄かも知れませぬが、餘り信じない方であり
ます。左右田博士が経済哲学を唱へて居ら
れた時は貨幣と云ふものを先天的の経済学の概
念である、イデーであつて、未来を指導する概念であるとした。
貨幣と云ふ眼鏡を以て見たならば経済現象が

能く分る。それは経験的に得られたものではなく、先天的に得られたものであると言つて、カント哲学―観念哲学を主張されたのでありますが、私はさう云ふ因果関係或は論理の法則と云ふ様なものは総て多年の生存競争に依つて鍛えられて来たものであると考へるのであります。哲学ではさう云ふものを見る時に一つの標準になるものをカテゴリイと云つて、判断する時に是非採用しなければならぬ型である、と言つて居ます。さうして是は先天的である

と云つて居るが、私に言はせれば、矢張り是は生物学的に淘汰されて遺傳的に得たものである。例へば茲に猫と鼠と居つて、猫が鼠を追ふ前にあれば鼠なりと云ふ確信を持つて追ふ猫であるならば鼠にありつけるが、あれは鼠だらうか、或は鼠でないかも知れないと云ふ様に疑ひ出して躊躇するならば鼠は逃げて仕舞つて、彼は生存競爭の落伍者になる。随て鼠なりと云ふ確信を持つて突進した猫のみが生存競爭の優者になる。さうしてさういふ猫

のみが遺傳的に殘つて行くのであります。又三角形の二辺の和が一辺より大なりと云ふ公理は固より証明出来ないものであつて、幾何学に於ては一つの與へられたるものである。併し是は論理の前提である。又是は生物学的にも言へることである。例へば鼠を追ふ猫が二匹あるとする。若し鼠に向つて三角形の一辺を直進する猫があれば、それは生存競争の優者となる。併し足が曲つて居るか、或は視覚が悪くて、三角形の二辺を通つて走る様な猫があるとす

れば、其の猫は鼠に逃げられて仕舞つて永久に取ることが出来ないのである。さういふ猫の牝、牡は必ず淘汰されて子供を産むことが出来ない。さうすると大抵直進する様な猫が残つて、さういふ牡牝が子供を産むと、其の子供は直線に走る様な傾向を持つて居る。即ち公理と云ふ様なものも生物学的に体験されて居るのである。知覚するのは判断力に依つて知覚されるのであるが、公理は生物学的に多年の生存競争の結果無意識に体験されて居る

のであります。仏釋迦様の悟りは或る朝の一寸した機会であつたけれども、それ迄には大年間の難行苦行があつたのである。それがなければ決して悟れないのである。多年の分量的修練が積つて質に変る、其処に悟りが来るのであります。幾何学的公理、或は論理的公理、は總て眞理を通して、且つ正しく考へる論理~~の~~のカテゴリーは矢張り何萬年、何千萬年の間~~淘汰まの結果があり、人間の闘争にされ~~て、其の結果或る年になつて知覚されるので

あつて、体験は既にされて居るのであります。此の点からして気張り範疇哲学者の云ふ範疇は生物学的のものである。ライオンが来たにも拘らず平然として逃げない様な兎は気張り食はれて仕舞ふ。ライオンは我を食ふものであるといふことを因果的に知つて、強者が来れば、君子危きに近寄らずといふ頭を持つて居る兎が強者として残るのであります。総て是は多年の遺傳性から来るのであつて、物を認めるカテゴリーといふものも多年の遺傳の

結果、環境の結果から自ら出て来るものである。今日喧ましくイデオロギーと云ふことを云ふが、是も矢張り其の人の個性、其の人の環境、其の人の育つた階級から其處に物の見方の型が出て来る、即ち観念の形態が出て来るのでありまして、其のカテゴリーに向つて、破れるかも知れないが、突進するより外仕方がないのであります。資本家は資本家、労働者は労働者のイデオロギーのカテゴリーに束縛環境を加へ入れ一つの考へ方に依つて突進する

より外に仕方がなかれと思ふのであります。又真理はさう云ふ風にして出て来て、さうして客感覚的にか、或は判断的にか、物の本質を見破った人が生存競争の優者となる。詰り直観的に物を見破るか、或は正しく論理を繰って客観的に将来を正しく見た人間が生存競争の優者となって永久に残るのであります。さうして其の頭も合理的、理性的になるのであります。

五、経済現象

経済現象は社会の現象の一つであって、ど

う云ふ現象から云ふと、是は手段的現象である。目的自体は色々ある、真、善美と云ふ様なものはさうである。けれども経済はさうではない。目的を果す為の手段としての現象界が経済である。之に対しては経済学者が色々と反対する。左右田博士も反対されて居る。若しさうであるならば總て経術は手段を目当に動いて居ると言はれるのであります。併しながら同じく手段であつてもそれはまだ手段と云ふ考へ方が足りないのである。例へば政治

家が大臣になる為には色々な手段がある。官吏になることも一つの手段であり、新聞記者になることも、資本家になることも一つの手段である。けれども次官になることが大臣になる為に一層よいか、新聞社長になることが良いか、大資本家になることが良い~~めがある~~か、其の目的に到達する迄は判断が出来ない。又如何なる努力も費用も何もかも考へないで有ゆる犠牲を払ってもなりたいと云ふのが真正の目的手段であるが、経済的手段はさうではな

い。第二次的手段である。其の手段を実現する為~~[illegible]~~所の手段である。例へば刀を例にとつて申しますれば、美術鑑識の為に正宗の刀が欲しい人にとつては何萬金でも欲しいものである。唯金がなければ成べく安く買ひたいと云ふことが問題であつて、高いからと言つて外のやくざ刀と換へる訳にはいかない。どうしてもそれが欲しいのである。然るに同じ刀でも刀自身の價値を目的とせずして、切ると云ふことを目的とする、即ち其の目的を達

する手段として力を欲する場合には決して正
案の力でなければならぬと云ふ必要はない。
力なら何でも宜いのである。切れると云ふ效
用を比較して、成べく費用が安くて效用のあ
る、即ち、能く切れる~~よき小槌な~~ものを選擇すれ
ば宜いのである。又戰爭の場合に於ても、彈
丸は金が掛らないで多くの敵を殺すと云ふこ
とが望ましいのである。斯く云ふと一應は經
濟的の行動の樣に見えるが、愈、最後になれ
ば彈丸は問題ではない。費用も問題ではない。

戦争に勝つと云ふことが目的である。随て経済ではない。経済は飽迄も費用と效用を比較して、成るべく安い費用でよい效用を挙げようとする手段行為である。又結婚に致しましても、こいやとではないが金がある為に結婚する事もある。手段として見る時は甲の娘でも乙の娘でも宜い。財産の餘計ある方に乗換へるだけである。其の点に於ては稍〻経済的に考へられる。斯う云ふ結婚は娘の人格自体を目的としないで経済的の結婚であると一応は考へられ

る。併しさういふ觀念で來て居るから中々合致しない。隨て結婚は成立しない。或は破談~~す~~になる。さういふ訳で結婚は全然經濟的には結局に於て出來ないものである。であるから経濟と非經濟との区別は稍々曖昧な所もあるが、大体に於て或る目的を達する手段として用ひられ、成るべく犠牲を少くして效用を成るべく多くしよう、其の間の差を大きくしようといふ所に現実の経濟現象がある。~~と斯うい~~
~~ふ風に見て行くのであります。~~

今日の貨幣経済に付て見るとそれがはつきり分る。コストを少くして剰餘を最大にするといふことに現はれて来るのである。此の貨幣経済は経済の一部であつて、總ての経済ではない。其の儲けた金を使ふ時でも矢張り一つの消費経済といふか、家計経済といふか、成べくそれに従つて多くの生活を営まうと云ふ所に経済現象が現はれる。同じ食物でも量が多いか、或は味のよい物をといふ風に主婦が頭を使ふ時に矢張り其處に経済現象が現はれ

るのであります。それ故貨幣のみにさう云ふ剰餘があるのではなくして、貨幣自体にさう云ふ傾向があると云ふことが言へるのであります。費用と云ふものも今日は貨幣經濟であるから一切金に換算する。費用を分析すると原料と労力である。原料を分析すれば矢張り物と労力である。物は究極に押詰めれば自然である。只の物である。随て費用と云ふものを押詰めれば労力の外の何ものでもない~~と云ふ~~ ~~ことになりまして化して仕舞ふのであります。~~其の労力

は何であるか。それは生きることである。費用以上に效用を大きくして生きる丈けのカロリを取れば彼は生存することが出来るのである。若し一日飛廻りまして得たカロリが飛廻つて費消したエネルギを補充するに足らないやうな鳥であるならば其の鳥は翌日は死んで仕舞ふ。他の動物にしても同じであります。其の最後の帰着点は身体を養ふエネルギをより多く攝ると云ふ所に経済の最初の出発点がある、そして経済は即ち最小の費用で最大の效用を挙げよう

10×20
國政研究會
8. 2. 9000

とする所もあると、一應斯う云ふ風に還元して仕舞ふのであります。

それから現實の經濟現象の分析をしますと、マルクスの價値説と云ふものは費用と效用の中費用ばかりを見て居るのであるが併し私は両方がさう云ふ風に持ち持たれつして居るものである。需要と供給は相関關係にあるものであつて、需用を高める為には供給を高め、供給を高める為には需用を高めなければならぬと云ふ關係にあるものでありますから、そ

れを押詰めて見ると需用と供給は一致する、費用と效用は一致すると云ふ意味で、マルクス経済学も或る見方をすれば成立するのであります。ロビンソン、クルーソーが五時間の労力に依つて得た物は兎に角夫れ相應の效用が得られるのであるから、效用から言へば總ての費用は效用に一致する。又経済的に費用は效用と一致すると云ふ意味に於て労働価値論と一致するのであります。併し其の内容から言へば、絶えずより低き生活からより高き生活に進化

して居る。費用と效用は其の上に於て生活に化体して居るのである。

最初はロビンソン、クルーソーは唯食ふことのみに一日を費して居つたが、然るに船から鉄砲を発見することに依つて容易く鳥を打つことが出来るやうになつた。初めは一日掛つて一羽より取れなかつたのが、鉄砲を発見することに依つて三羽も四羽も取れるやうになつた。さうすると後の二日なり、三日なりは働かなくても宜い。其の間に海に釣に行くなり、或は家を建てるなり、或は日記を書くと云ふ様にして

彼の生活は次第に豊富になつた。併し外から見る時は働いた以上に何物も生産されたのではないのである。けれども其の内容は次第に豊富になつて行つたのである。さうして費用と效用の間に差が出来る。其の差を益々大きくすると云ふ所に生活への化係がある。其の化係が又より高き文化生活それ自身を目的とする生活に対して時間の餘裕を與へる。さうして文明が出来上る前提になる。文明が出来上れば科学の発明に依つて最少の費用で最大の

效用を挙げる方法が発見され易くなつて行くさう云ふことに依つて経済と其の外の文化生活は又相互関係になつて行くさう云ふ樣に思ふのであります。是が大体経済の内容であります。さう云ふ次第で経済と云ふものは結局最少費用で最大の效用を挙げると云ふ所にある。さうして静かな現象と独特の現象界が社会の中にある。其の交互作用で分業的な経済社会が出来る。又さう云ふ風に考へることは生物学的に、遺伝的に既に出来て居るのであります。

要するに最少の費用で最大の効用を営んで居る者が生存競争の優者になるのであります。人間は今日さうなつて居る。経済現象を知覚し、体験して居ると経済現象の力ナゴリが自ら或る年になると大体分つて来るままふ上まはなつて来るのがあります。然るに左右田博士はそれを先天的な貨幣の観念に求められた。是は哲学に余り深く這入られた為めであるか、兎も角貨幣からシステムを作つて行かうとした。結果、其処は貨幣だけが経済ではない、

併し

貨幣であつても不経済もある、選挙費、香奠にしても皆不経済的な使ひ方である。随て貨幣のみが経済現象であると言はれた其の第一前提が誤つて居つたのではないかと思ふのであります。同じ投資でも経済的に使つた投資は生産の要素になる、けれども總ての投資が生産の要素にはならないと云ふのと同じであつて、貨幣を以て先天的経済的思惟であるとして、それを以てシステムを作らうとした所に無理があつたのぢやないかと思ふ。それも

博士が銀行家生れであつた為に先天的に貨幣が経済であると云ふ金融資本家の~~中野正剛~~イデオロギーを捨てて居つた為に遂に斯う云ふ説が出たのではないかと思~~はれて居るのであります~~ふ。

六、近世資本主義の発展

それから最少費用と最大効用の法則が発展する時に二つのことが出て来る。第一に合理化運動を起す。最少の費用で最大の効用を挙げようとするには費用と効用の差額を大にする必要がある。それには当然合理化を行はなく

ければならない。又次に總ての人が最少の費用で最大の效用を挙げようとする為に利潤が平均する。經済現象として此の二つの法則が現はれて来るのでありませう。さうして合理化の結果は云ふ迄もなく物を多く拔いて、[illegible]に生産過多を招く傾向がある。均衡化の結果、結局は合理化され、物を消費する方面に対しても、あゝ云ふ時には斯う云ふ消費をして貰ひたいと云ふ様なことになり、消費的の均衡の採用に移りますと、労働問題其の他の方向

に向つて行く。それが今日の日満ブロックの如きものになるのであります。欧洲は大戦の為に合理化されて進んで居つても宜い位に物を拵へる様になつた、余り生産過剰になつたのであるが、尚ほ再び欧洲が働いて来て一層物が余つて、他国に売らうとして色々なことが為されたのであります。

戦前に於ては英国を先頭にして独逸、米国などが工業に於てはピラミッド形をして居り、国際分業がうまく行つて居つた。茲に十九世

紀のマンチェスター学派の自由貿易論の根拠があるのであります。併し一八七〇年の普佛戦争の結果独逸の勃興に依って漸く、バランスが乱れ、英国の鉄工業に対して独逸の鉄工業が大いに進出して大量生産が行はれ、資本主義が帝国主義になりました。又ワットの蒸気機関が発明されて、ナポレオン戦争後即ち一八二〇年以後発達して、手工業から機械工業に変って、労働者が淘汰され、合理化が行はれた。其の結果労働者は機械を倒せと叫ぶやうになり、

機械を呪咀する聲が高かつたのであります。さうして機械に依つて生産力が殖え、消費は減つたので生産と消費のバランスが破れ、不景氣が起り、それが一八四五年近續いたのであります。所が一八四五年にトランスヴァールの金鉱が発見されて、茲に変動が起り資本主義が欧洲大陸に出来た。さうして景氣の上昇期に向つたのであります。それから二十五年経つて、一八七〇年頃が資本主義の第一期であつて、景氣が上昇して行き、自由通商も円

満に行はれ、同各人が安い物を得ることが出来るやうになり、分業が行はれて、世界が円満に行つた時代であります。然るに独逸が普佛戦争の結果フランスから多額の償金を取つて鉄工業を起すと同時に世界は[illegible]も鉄道熱、蒸気熱の時代に這入つて行き、亜米利加は鉄道、蒸気を利用して穀物をどんどん欧羅巴に送るやうになつた。其処で欧洲は保護貿易政策を執らざるを得ないやうになつた。さうして一八七〇年を中心として自由貿易主義は独占資本主

義になり、同時に帝国主義になり、世界が再分割の世界になりた。それが又二十五年程続きまして、トラストヴァールの金鉱が発見され、蒸気工業から石炭になり、石炭から水力に移り、さうして一八九五年の日清戦争の後に再び世界は第二期の帝国主義の繁栄期に這入つて、其の絶頂が欧洲大戦になり、今は第三期の資本主義の沈滞期でありますが、それは總て合理化の為でありまず。又合理化の為に馘られた者が多いので消費が減り、

各国は餘つて居る物を売らうとして関税を高くするので益々世界貿易は少くなり、益々売れなくなると云ふのが現在の有様であります。又合理化が其処に動いて居ると同時に、世界は今迄は英国が中心になつて世界の總ての国が均衡化しよう、自分の力でやらう、平均しようと云ふ力が起つて、世界はブロック経済、自給自足の大勢に進みつゝあるのであります。一九二〇年に資本主義の第三期に進入つたものとすれば、それから後二十五年間、即ち一九

外国へ

これに対し相手国は

おれが宗や

四五年迄はブロック経済、統制経済の建設時代である。さうしてブロック経済、統制経済が世界経済の或は繁栄期に這入るのではないか、即ち第三期繁栄論と云ふのが私の説であります。而もそれは矢張り経済原則から来て居ると云ふことになるのであります。

七、経済の理想

最後に、結局さう云ふ風に経済現象が発展した結果何処が経済の価値――結局の理念であるかと云ふことになると、物の効用を極力発揮する、さうして（純粋の効用）効用自体と云ふ所に迄伸ば

して行くのであります。今日は昔より非常に純粋の水を飲んで居る、川の水を飲んで居る人よりも水道の水の方が純粋であるが、まだ〳〵理想的の水が出来ると思ふ。又空気は今日に於ても非常に不完全である。何処にもあるので何人も注意しないから発達が非常に遅れて居る。窒素、酸素等がちやんと配合されたな純粋の空気が出来、或は何処へでも携帯出来る様な空気が発明される迄には、まだ〳〵空気は純粋効用を発揮するには遠い。食物にし

ても今日の食物は不合理である、半分以上は徒に出て行つて排泄されて仕舞ひ、それを消化する為に胃腸を害ふ様な餘計なものが必要になるのであつて、食物の純粋の效用はまだよく発揮されて居らない。どうしても純粋の食物が出来て、嘗めて居れば宜い様なことになり、食物自体として純粋の效用が発揮されなければならないのであります。是は永遠の理想であるが究極に於ては発見さるべきものである。併し純粋の效用が発揮されても費用が高くて

は困るから機械化して成べく安く出来るやうに生産の合理化、企業の合理化をしなければならない。さうしてボタン一つ押せば總てのものが生産される迄に行かなければならない。さうすれば最少の費用で最大の效用―無限の能力の純粋の效用、超越的の價値が発揮される。其處に於て経済理想が実現され、其処では最早経済はなくなつて技術のみがある。さうして技術のみが人間は経済的に全然自由になる。而もまだまだ小自由ではなく、或は客観的な

経済的価値、物自体の客観的本質が発揮される。同時に主観的には経済的判断即ち経済的に如何にそれが合理的であるかどうかと云ふことを判断する。又消費する能力が人間として極度に発揮されて行く。効用ある物であつても猫に小判では仕方がない。卵は滋養分になると云つても消化することを前提として滋養分になるのであります。立派な効用が発揮されても立派な主観的価値判断がなければならない。矢張り理念として主観が非常に発達す

ることが必要であります。要するに経済的自由、経済人の理想的、理念的経済の発揮、純粋効用の発揮、此の三つが目的になつて仕舞ふ。之に依つて今日の現実経済からより善き経済に向ふのである。其処に私の経済的理想がある。さうなれば世の中には最早手段たる経済現象はなくなつて、総て夫れ自体を目的とするやうになる。さうして非常に幸福な、何もかも文化的な人世になつて行く。さう云ふことになれば又科学の発明に依つて経済自体が又良

くなる。其處で両者は相互関係を持つて居ると云ふのが最後の経済的理念であります。それから私の説を書いて友人に示した所が、君の思想は佛教の阿含の思想に能く似て居ると云ふことを言つて呉れたのであります。又或る友人は、君の哲学は、伊藤公に憲法を教へたロレンツ・フォン・スタインの哲学に似て居ると言つて呉れました。彼は昔の國家学者シュターリッザールトの先生です。政治経済学者であるが、経済哲学、或は法理学とも云ふべき一つの纏つたものを書いた。十一

うして生の立場を執つて、ヘーゲルの哲学を利用して、生の~~哲~~経済学を唱へて居るのであります。併し勿論システムなどは別であります。其の点を私は最近読んだのでありますが、成程システムは全く別であるけれども、生の哲学から経済学を説かうとした人であることは一致して居るのであります。又ヘーゲル哲学が十九世紀に衰へた反面に於て実証主義的、進化論的の傾向が表はれ、英国ではダーウヰン、スペンサーの進化的社会学が出来、独逸ではディ

ルタイが「生の哲学」と云ふ本を書いて居る時代でありますから彼が生と云ふ立場から経済学や法律学を見ようと勉めたことは無理もないことであると思ふのであります。其処で私はさう云ふ先輩があると云ふことを知つたのであります。是で大要は大体申上げた積りであります。

（終り）

No.

10×20

國政研究會

8. 2. 9000

10×20

國語研究會

8. 2. 5000

群馬県立図書館
0707127-7